

| | | | | | | | | | |
|------------------|--|------|----|---------|----|------|--------|-----|-----|
| 講義コード | 11C0100911 | 授業形態 | 演習 | 事前登録の有無 | なし | 担当教員 | | 開講期 | |
| 科目名 | 英語リスニング1K | | | | | 担当教員 | 太田 美智子 | 開講期 | 第1期 |
| 履修前条件 | | | | | | 備考 | | | |
| 授業の目的 | 主にリスニングを中心に学習し、併せてライティングとスピーキング技能も養う。(リーディングは基礎的補足的には扱う。) 年々国際化する社会の中で、外国の人々と英語でコミュニケーションをとる機会が増えつつあるため、日常会話に使用される様々な表現方法、会話やアナウンスのリスニングとスピーキング、プレゼンテーションスキルなどのコミュニケーション全般にかかわる能力を伸ばすことを目標とする。そのために、まず、初歩的なレベルの訓練を行う。この訓練によって、結果的にTOEICのリスニング・セクションのスコアを伸ばす効果を引き出すことを目指す。 | | | | | | | | |
| 到達目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 基礎的な会話やアナウンスの概略を理解できる。 2. 基礎的なディクテーションができる。 3. 聞き取った内容について簡単な意見やコメントを述べたり、書いたりすることができる。 4. 自然な英語の発話リズムに慣れる。 5. TOEICのリスニング・セクションの問題形式を理解する。 | | | | | | | | |
| 授業外学修内容・授業外学修時間数 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 次の授業に向けて教科書等を読み、理解する。 2. 担当講師から与えられた課題を行う。 3. 単語等、前回学習した内容を復習する。 4. 大学のWebClassが提供するe-learningを活用する。 5. テレビ、ラジオなどの語学講座や、インターネット上の英語関連サイト、参考書等を有効に使う。 上記を15時間以上行うこと。 | | | | | | | | |
| 授業計画 | 【第1回】～【第14回】 ①リスニングに慣れるため、会話やアナウンスなど基礎的なディクテーション、音声内容の理解を養う。それに伴いスピーキング、ライティングの練習も適宜行う。 ②TOEICのリスニング・セクションの問題形式を理解する。 【第15回】TOEIC団体試験受験直前対策 | | | | | | | | |
| 成績評価の方法 | 中間、小テスト等の各種テスト(60%)、授業への参加態度(40%) | | | | | | | | |
| フィードバックの内容 | | | | | | | | | |
| 教科書 | 各担当講師の指示に従う。 | | | | | | | | |
| 指定図書 | 『TOEIC新公式問題集 Vol. 6』Educational Testing Service(著)、国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会(編集)(国際ビジネスコミュニケーション協会)2014年 | | | | | | | | |
| 参考書 | | | | | | | | | |
| 教員からのお知らせ | <ol style="list-style-type: none"> ①教科書や辞書は担当の先生の指示に従ってください。 ②大学のWebclassが提供するe-learningを積極的に活用してください。TOEICのe-learningを利用した場合の評価基準は、各担当の先生に確認してください。 ③TOEIC団体試験(9月末～10月始め)の受験をお勧めします。入学から10月までに行われるTOEIC試験で、各自のTOEICスコア最高値が、経済学部で上位50位程度に入る場合、2年生から始まるEnglish Intensive Class(EIC)に加入することができます。EICに加入すると、TOEICのスコアを伸ばし、英語運用能力全般を伸ばすEIC限定授業を履修することができます。 | | | | | | | | |
| オフィスアワー | 本授業に関する質問・相談は、授業終了後、次の授業に支障がない範囲で教室内にて対応します。 | | | | | | | | |
| その他 | | | | | | | | | |